

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公開番号】特開 2000-349617 (P2000-349617A)
【公開日】平成 12 年 12 月 15 日 (2000.12.15)
【出願番号】特願 平 11-157246
【国際特許分類】

H 0 3 K 19/0185 (2006.01)

【 F I 】

H 0 3 K 19/00 1 0 1 D

【手続補正書】
【提出日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項 3
【補正方法】変更
【補正の内容】

【請求項 3】 請求項 2 記載の半導体集積回路装置において、
前記静電気放電保護手段が、
アノードに第 1 の電源電圧が供給され、カソードに第 2 の電源電圧が供給される第 1 のダイオードと、
一方の接続部が前記第 2 のインバータにおける出力部と接続され、他方の接続部が前記第 1 のトランジスタにおけるゲートに接続された第 1 の抵抗と、
カソードが前記第 1 のトランジスタにおけるゲートに接続され、アノードが基準電位に接続された第 2 のダイオードと、
一方の接続部が前記第 1 のインバータの出力部に接続され、他方の接続部が前記第 3 のトランジスタにおけるゲートに接続された第 2 の抵抗と、
カソードが前記第 3 のトランジスタにおけるゲートに接続され、アノードが基準電位に接続された第 3 のダイオードとよりなることを特徴とする半導体集積回路装置。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 6
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 1 6】

さらに、本発明の半導体集積回路装置は、前記静電気放電保護手段が、アノードに第 1 の電源電圧が供給され、カソードに第 2 の電源電圧が供給される第 1 のダイオードと、一方の接続部が前記第 2 のインバータにおける出力部と接続され、他方の接続部が第 1 のトランジスタにおけるゲートに接続された第 1 の抵抗と、カソードが第 1 のトランジスタにおけるゲートに接続され、アノードが基準電位に接続された第 2 のダイオードと、一方の接続部が第 1 のインバータの出力部に接続され、他方の接続部が第 3 のトランジスタにおけるゲートに接続された第 2 の抵抗と、カソードが第 3 のトランジスタにおけるゲートに接続され、アノードが基準電位に接続された第 3 のダイオードとよりなるものである。